

日心@久留米

シンポジウム

英語論文投稿への道2017

刊行戦術

—パブリケーションタクティクス—

佐々木恭志郎

早稲田大学・九州大学・日本学術振興会特別研究員

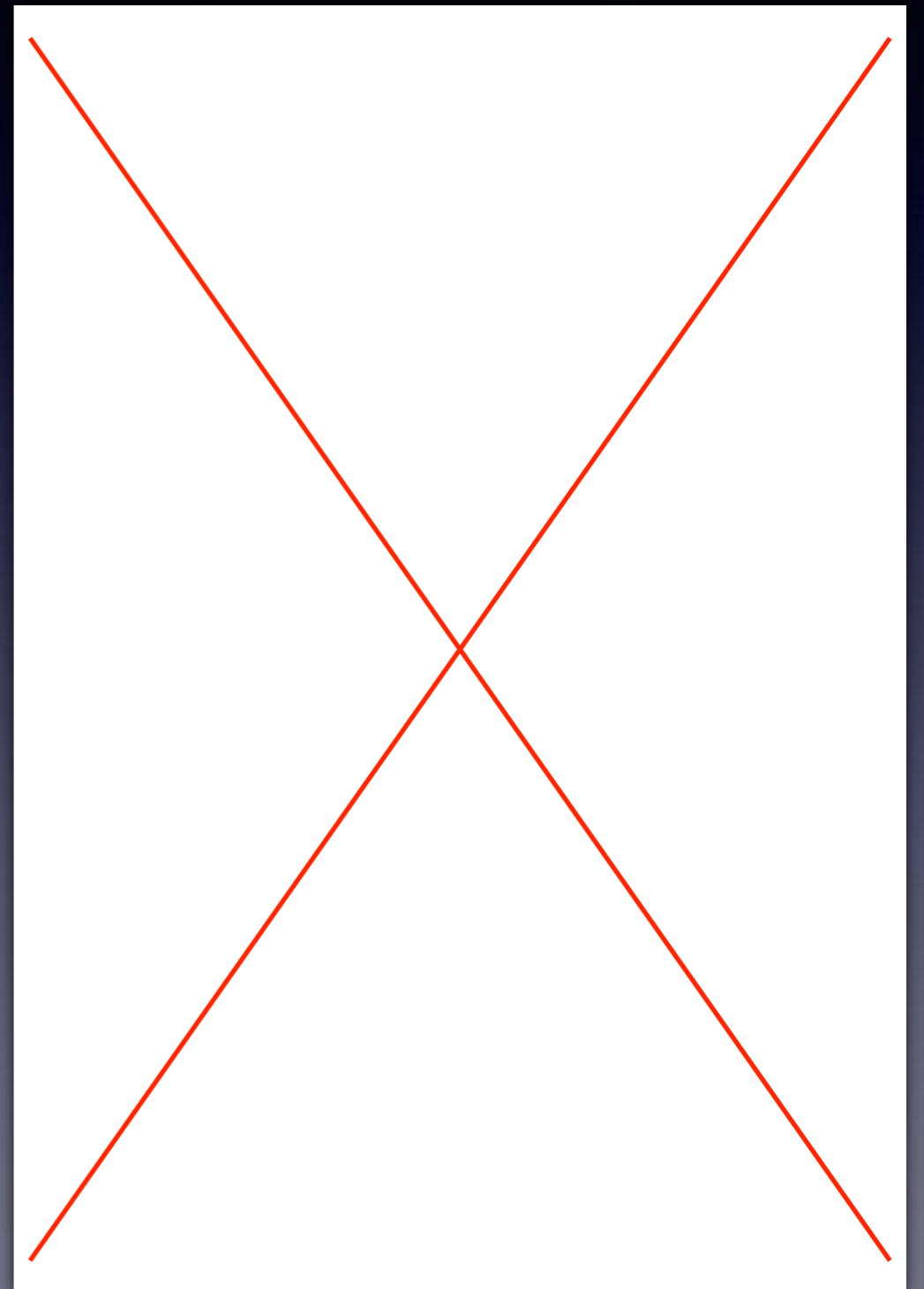
自己紹介

佐々木恭志郎 博士 (心理学)

1988/09/20生まれ

—昨日誕生日

福岡県久留米市出身



自己紹介

2012年: 九州大学文学部卒業 [学士(文学)]

2014年: 九州大学大学院人間環境学府修士課程修了
[修士(心理学)]

2016年: 九州大学大学院人間環境学府博士後期課程修了
[博士(心理学)]

自己紹介

現在：ポスドク@早稲田大理工学術院

専門分野：実験心理学

Short Report

i-PERCEPTION

i-Perception

Regular Is Longer

PROCEEDINGS B

rspsb.royalsocietypublishing.org

Kyoshiro Sasaki
Faculty of Science and Technology

RESEARCH ARTICLE

Research



CrossMark
click for updates

Trypophobic Discomfort
is Spatial-Frequency
Dependent

Kyoshiro Sasaki^{1,2,3}, Yuki Yamada², Daifchiro Kuroki⁴, and Kayo Miura⁵

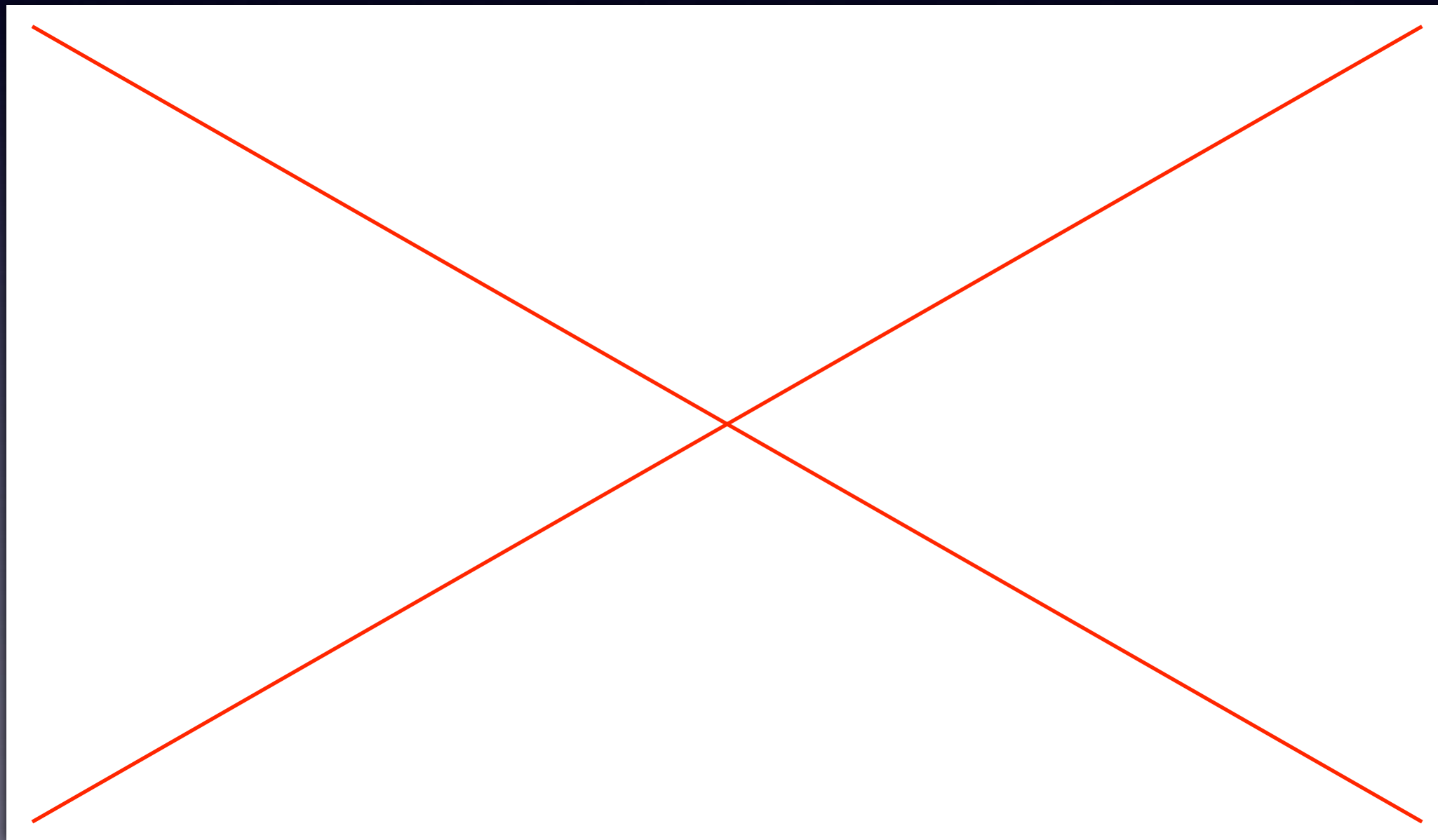
Post-determined emotion: motor action
retrospectively modulates emotional
valence of visual images

Kyoshiro Sasaki¹, Yuki Yamada² and Kayo Miura³

¹Graduate School of Human-Environment Studies, Kyushu University, 6-19-1 Hakozaki, Higashi-ku,

査読付論文の役割

自らが明らかにした知見を世に知らしめる手段



査読付論文の役割

自らが明らかにした知見を世に知らしめる手段

研究者として「**当たり前**」のこと

査読付論文の役割

研究者のキャリアパスにも関わる

- 博士論文

- 学振DC・PD

- アカデミアでの就職

- 競争的資金の獲得

特に業績(論文)数大事

査読付論文の役割

研究者のキャリアパスにも関わる

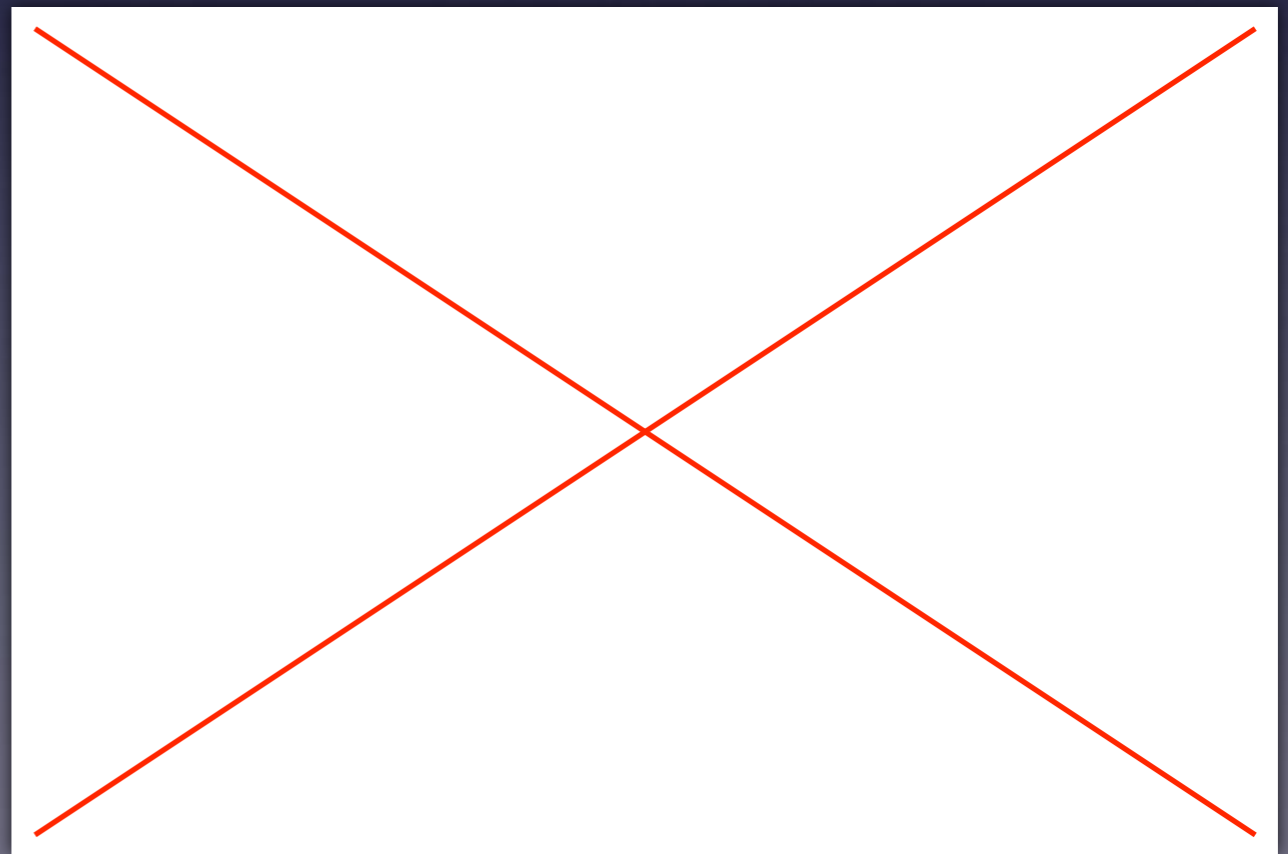
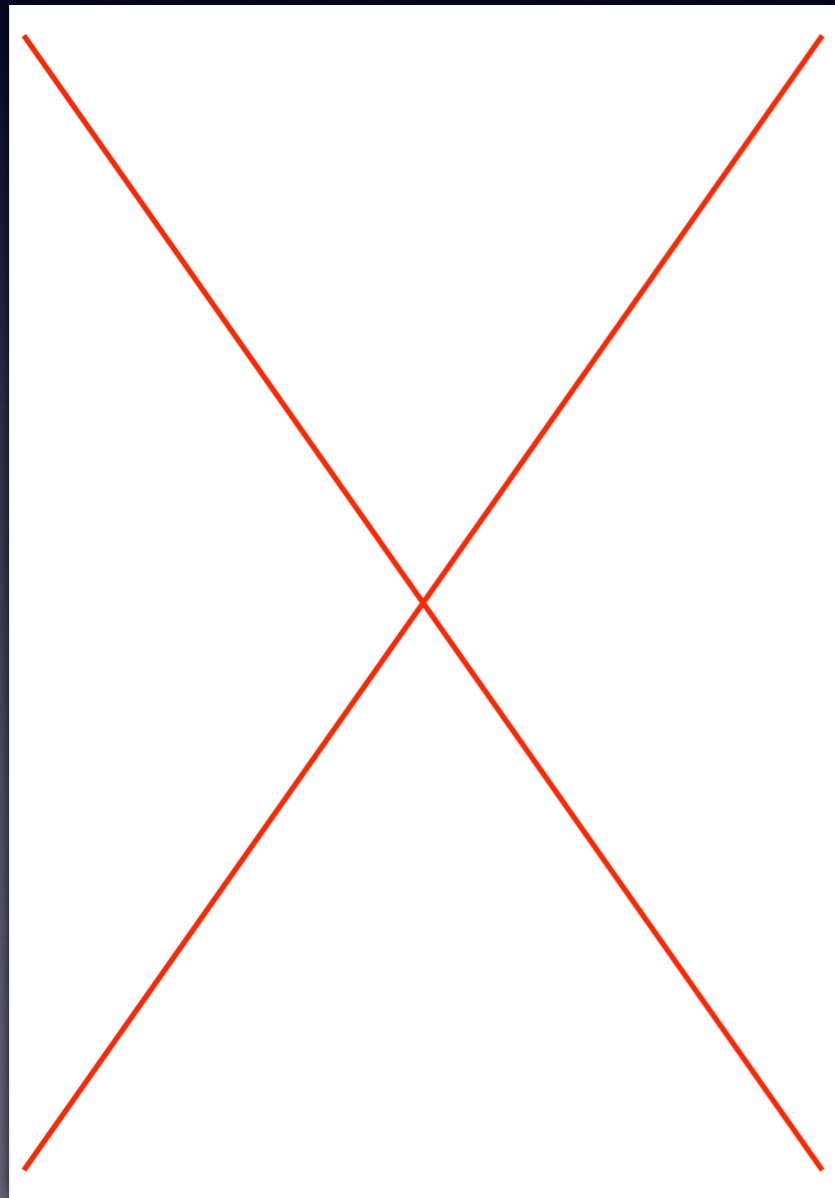
博士論文

「出版せよ，さもなくば滅びよ」 の世界

・アカデミアでの就職

数，そしてスピードが必要！

戦術もときには大事



今回は具体的な「書き方」に関する話はナシです

いかに「**効率的に**」投稿・刊行するかに関する私(ないしは私の知人)なりの戦術についてお話します

ちなみに「運」要素も結構あります

しかも現状に沿った戦術も多いので未来永劫有効かは不明

人によって合う合わないあると思うので・・・

今回は具体的な「書き方」に関する話はナシです

いかに「**効率的に**」投稿・刊行するかに関する私(ないしは私の知人)なりの戦術についてお話します

観覧・採用注意

しかも現状に沿った戦術も多いので未定な効右効かけ

なにせこれが絶対的に正しい方法か不明なので

人によって合う合わないあると思うので・・・

キーワードは

無駄をなくす

日常意識系

コラボ系

高度戦術系

実験終了後に方法・結果を書く

実験終了後に方法・結果を書く

背景

方法

結果

考察

この記述は
比較的単純作業

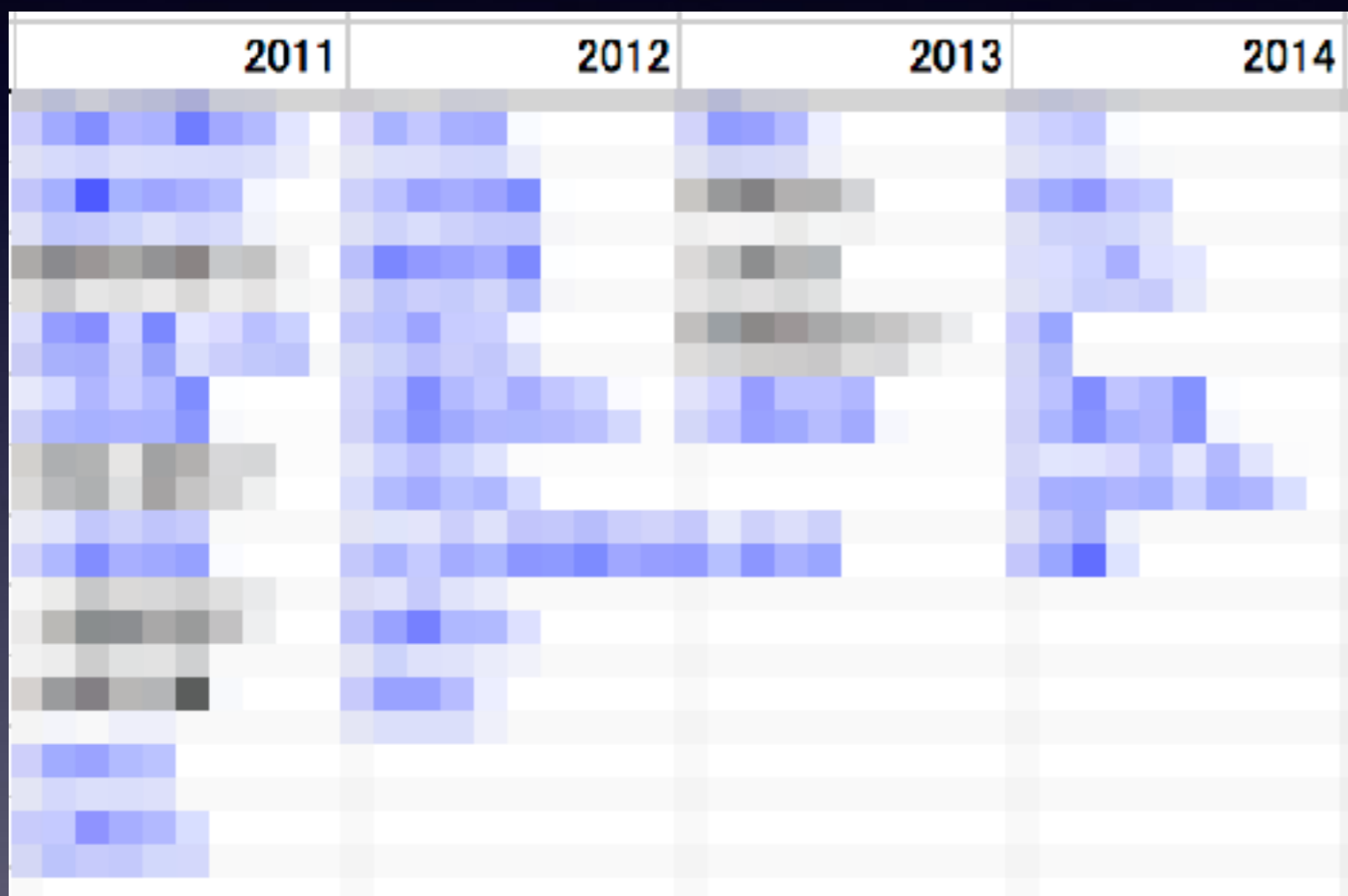


投稿を考えた時背景と
考察だけですむ

同世代の研究者を常に意識

同世代の研究者を常に意識

同世代の出版動向を定期的に確認



モチベーションの維持

化け物リスト

日常意識系

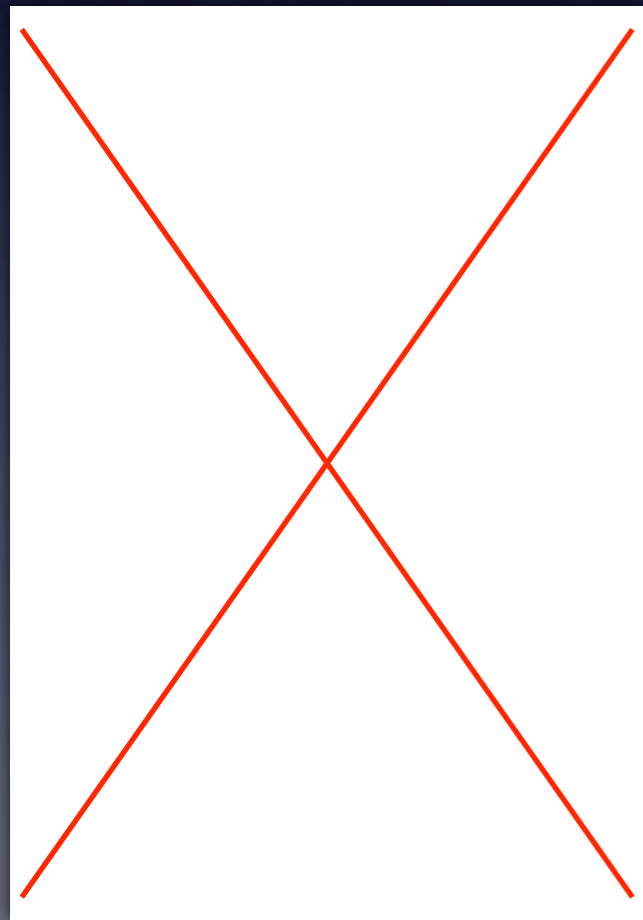
コラボ系

高度戦術系

心強い味方を見つける

心強い味方を見つける

M1の頃



某先輩

佐々木くんは論文書き慣れてる
若手と組むのが上手い

心強い味方を見つける

学部・修士の頃に執筆した1st論文

Sasaki, K., Yamada, Y., & Miura, K. (2015). Post-determined emotion: motor action retrospectively modulates emotional valence of visual images. *Proceedings of the Royal Society B: Biological Sciences*, 282: 20140690

Sasaki, K., Taya, S., & Miura, K. (2014). Numbers increasing to the right contract perceived time. *International Journal of Affective Engineering*, 13, 279-284.

Sasaki, K., Yamamoto, K., & Miura, K. (2013). The difference in speed sequence influences perceived duration. *Perception*, 42, 198-207.

Sasaki, K., Seno, T., Yamada, Y., & Miura, K. (2012). Emotional sounds influence verticalvection. *Perception*, 41, 875-877.

指導教員の先生忙しい

若手の諸先輩の指導は(改めて考えても)貴重

二重の指導！

え、どうしたらいいの？

心強い味方を見つける

ラボで日頃から議論



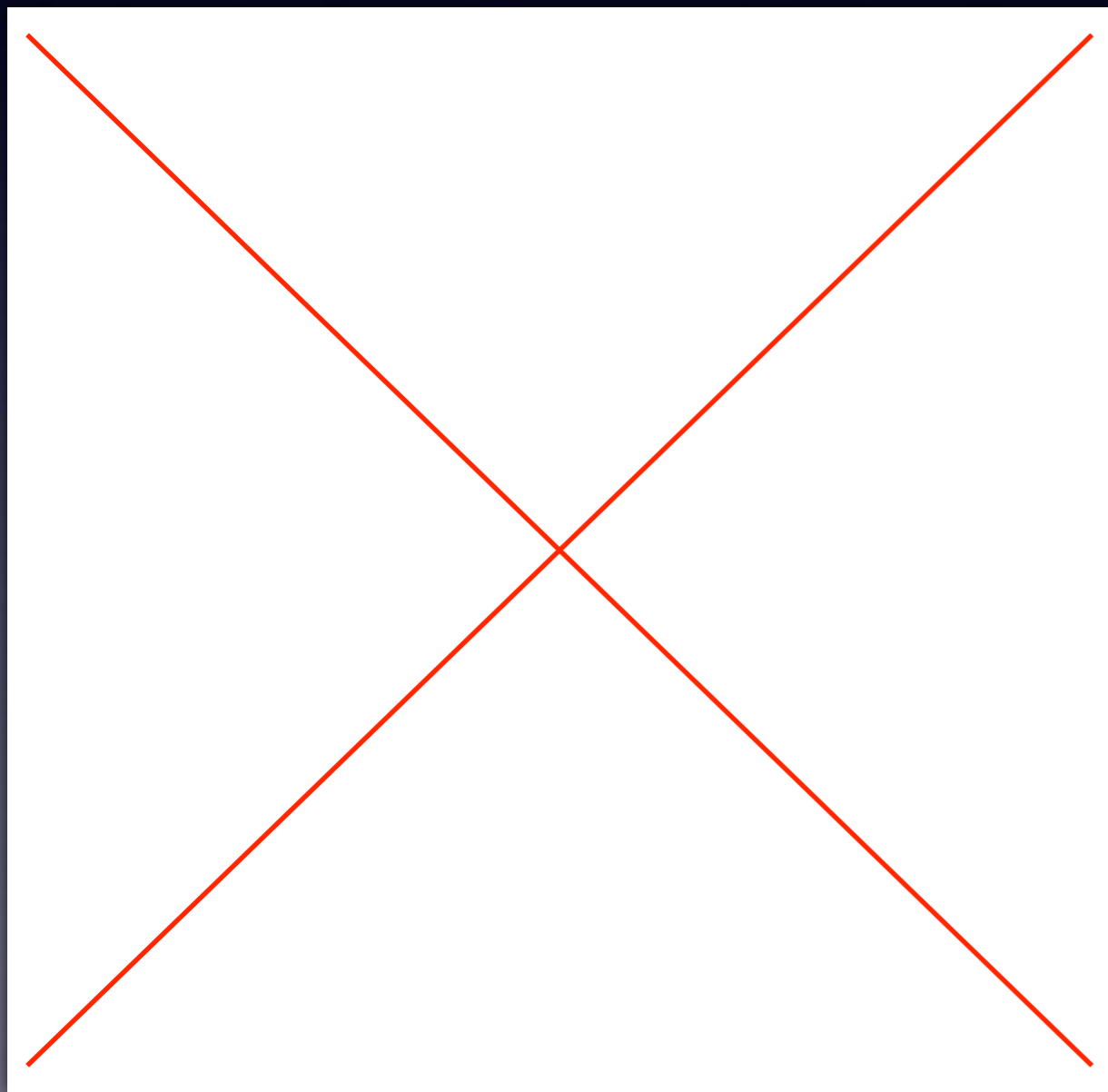
先輩との議論で
面白いアイデア
生まれるかも？



コラボ誕生

心強い味方を見つける

いろいろな人と知り合いになる



コラボ可能性が高くなる

講義を利用する

講義を利用する

九大の修士ではグループ研究の授業がある

最終目標は・・・

論文掲載

Two replications of
“Hierarchical encoding makes individuals in a group
seem more attractive (2014; Experiment 4)”

Yuko Ojiro^{□, a}, Akihiko Gobara^{□, a}, Giyeon Nam^a, Kyoshiro Sasaki^{a, b}, Reiki Kishimoto^{a, c},
Yuki Yamada^d, Kayo Miura^e

**When a Silhouette
Appears Male:
Observer’s Own
Physical Fitness
Governs Social
Categorization of
Sexually Ambiguous
Stimuli**

Reiki Kishimoto^{1, 2*}, Kyoshiro Sasaki², Akihiko
Gobara², Yuko Ojiro², Giyeon Nam², Kayo Miura³,
Yuki Yamada⁴

**Fear of eyes: triadic
anxiety, trypophobia
eye cluster**

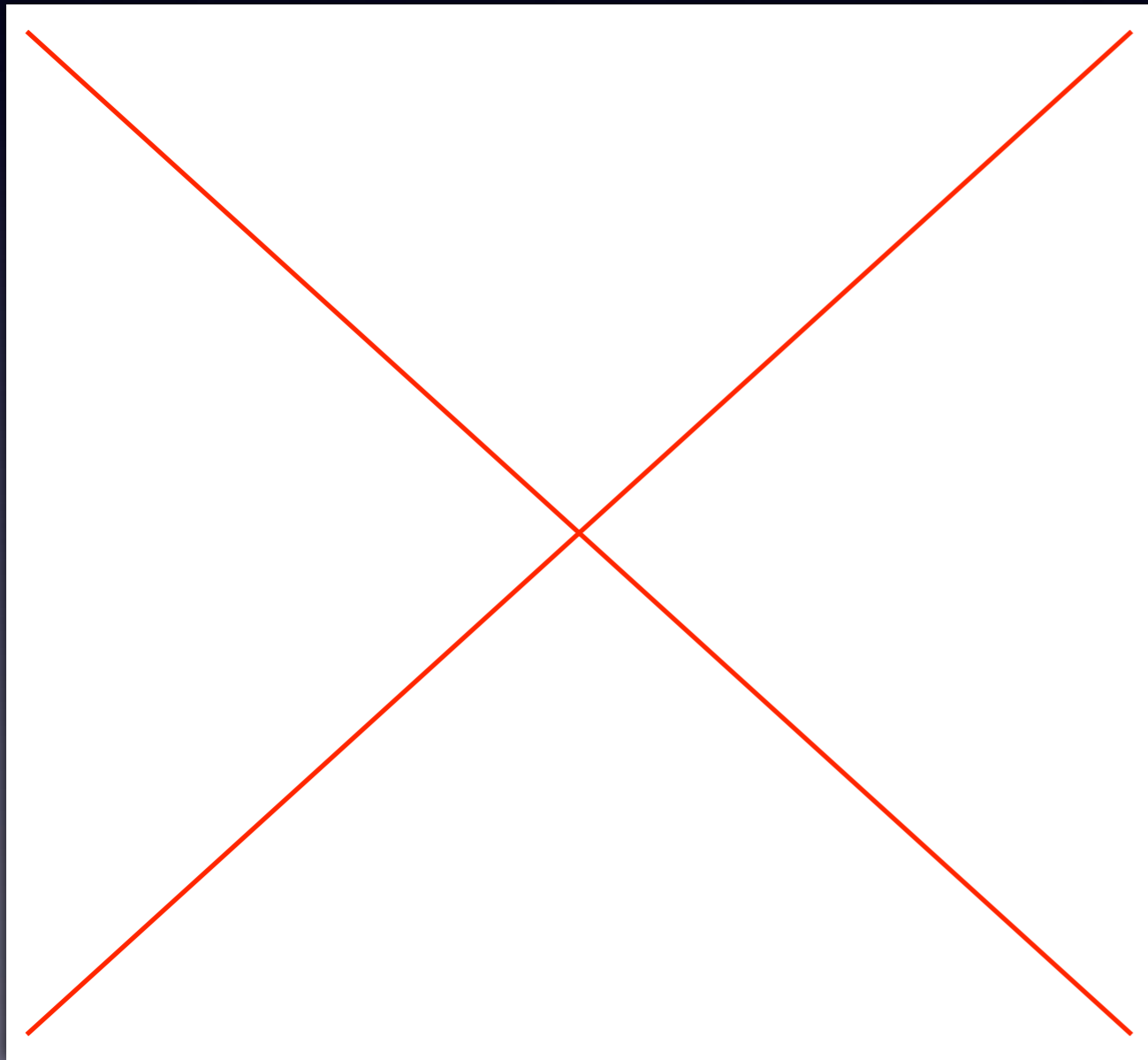
**Disgust and the rubber hand illusion: A registered replication report
of Jalal, Krishnakumar, and Ramachandran (2015)**

Hiroshi Nitta^{1}, Haruto Tomita¹, Yi Zhang¹, Xinxin Zhou¹, Yuki Yamada²*

Kengo Chaya¹, Yuting Xue¹, Yusuke Uto¹, Qirui Yao¹ and Yuki Yamada²

講義を利用する

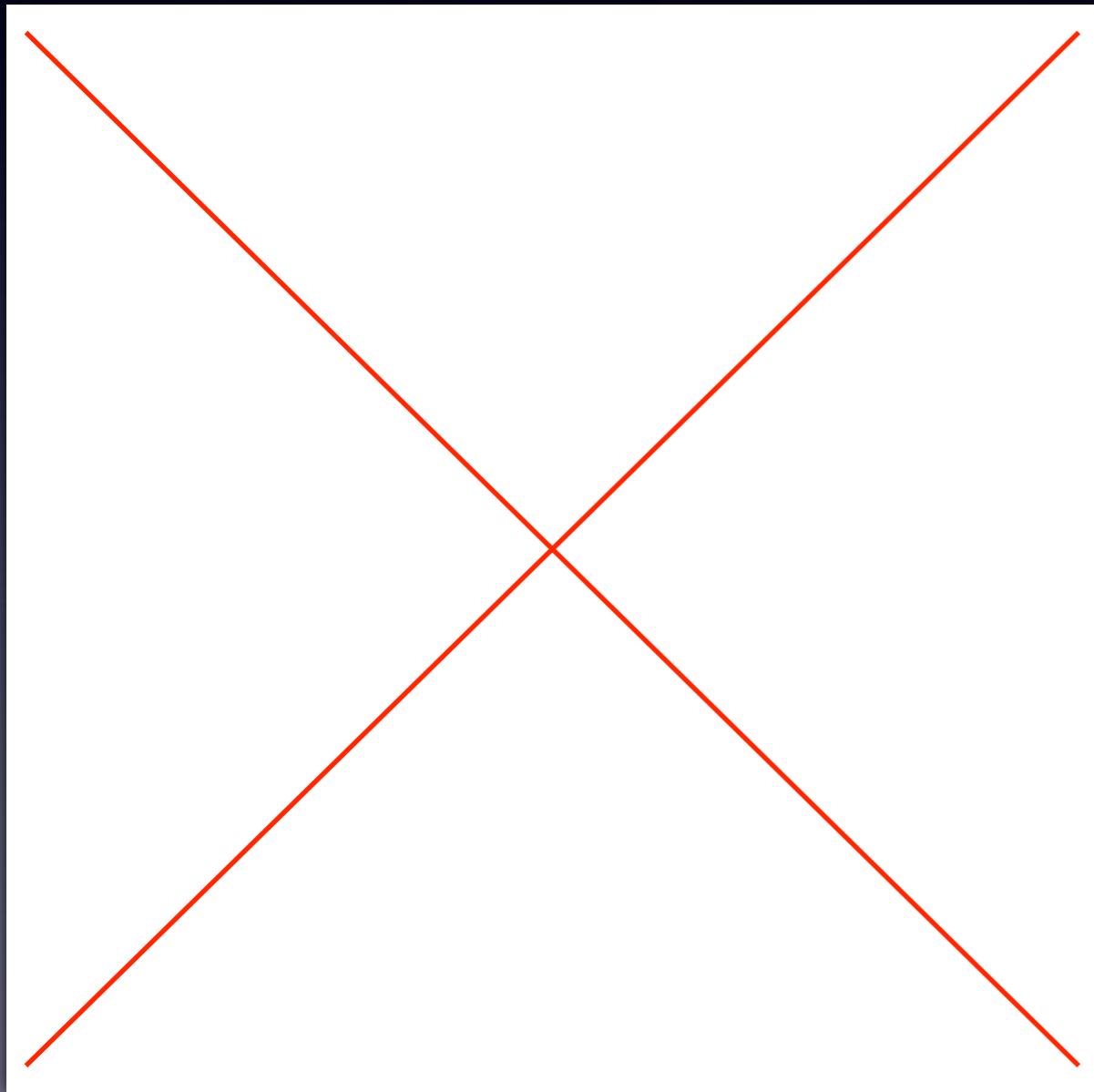
メリット: 仲間がいる



協力すれば
分担作業 &
モチベーション
維持可能

講義を利用する

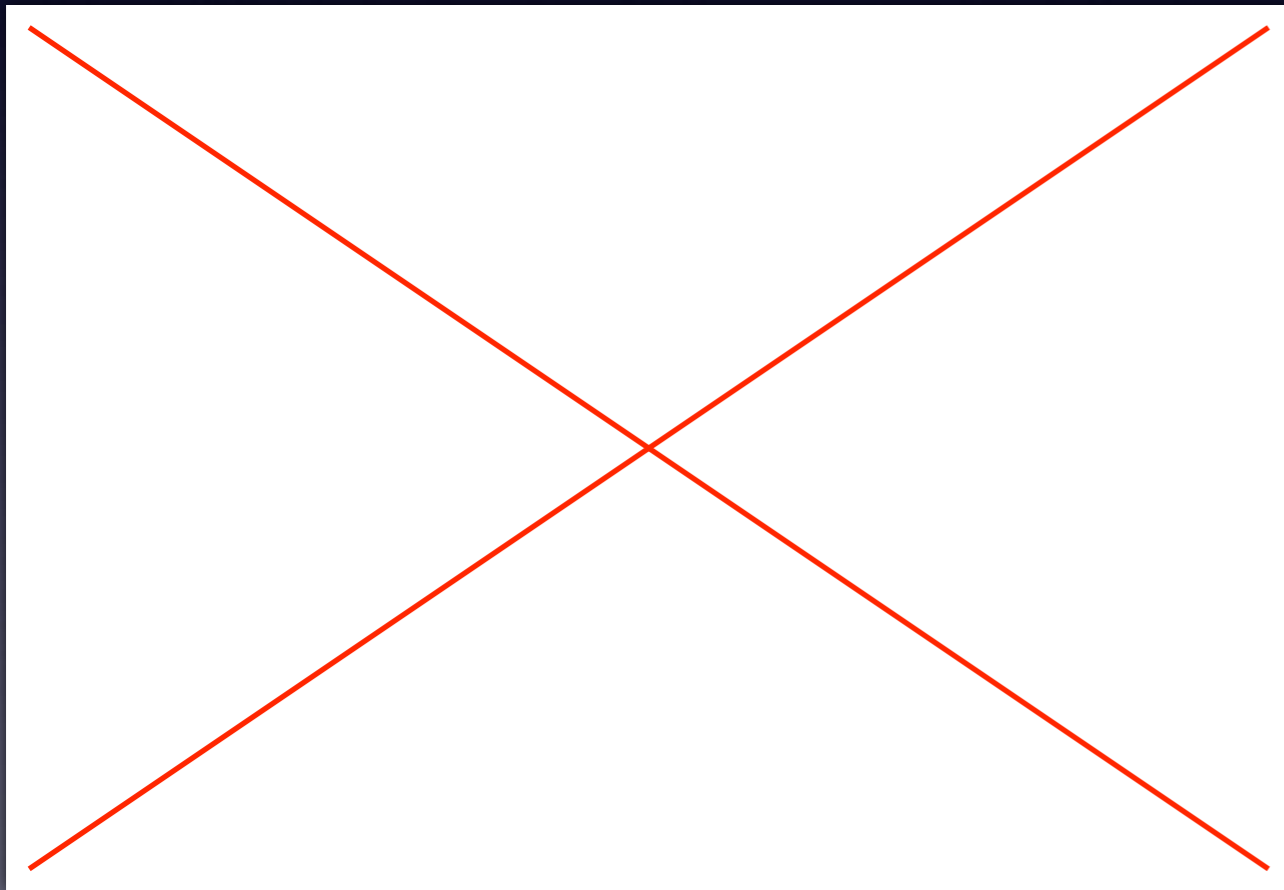
メリット: 共同研究の経験



共同研究の流れ&
作法を早期に経験可能

講義を利用する

メリット: 何より出版までの経験ができる



この経験を次は自身の
研究で活かす！

講義を利用する

おまけ: 再現性問題に取り組む

Two replications of
“Hierarchical encoding makes individuals in a group
seem more attractive (2014; Experiment 4)”

Yuko Ojiro ^{□, a}, Akihiko Gobara ^{□, a}, Giyeon Nam ^a, Kyoshiro Sasaki ^{a, b}, Reiki Kishimoto ^{a, c},
Yuki Yamada ^d, Kayo Miura ^e

**Disgust and the rubber hand illusion: A registered replication report
of Jalal, Krishnakumar, and Ramachandran (2015)**

Hiroshi Nitta¹, Haruto Tomita¹, Yi Zhang¹, Xinxin Zhou¹, Yuki Yamada²

心理学界にも大きな貢献！

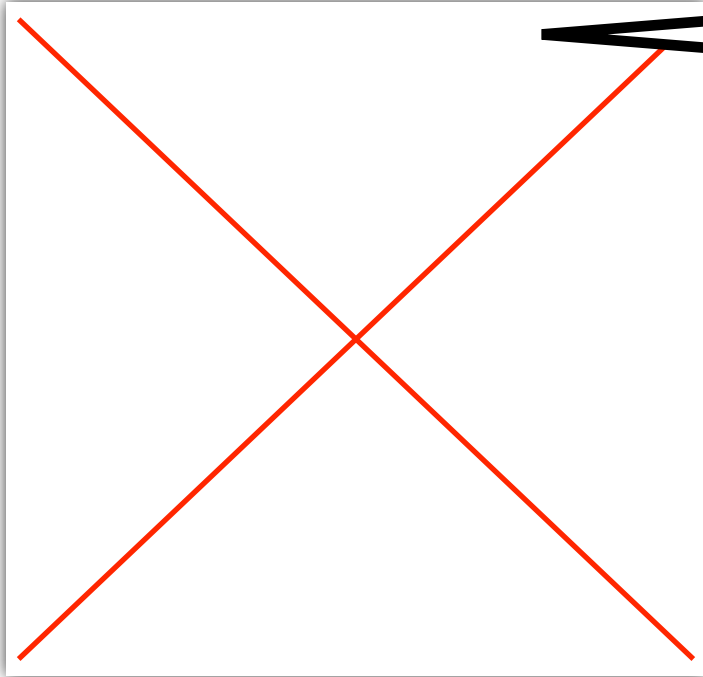
日常意識系

コラボ系

高度戦術系

不当なリジエクトには文句を言う

不当なリジェクトへの苦情



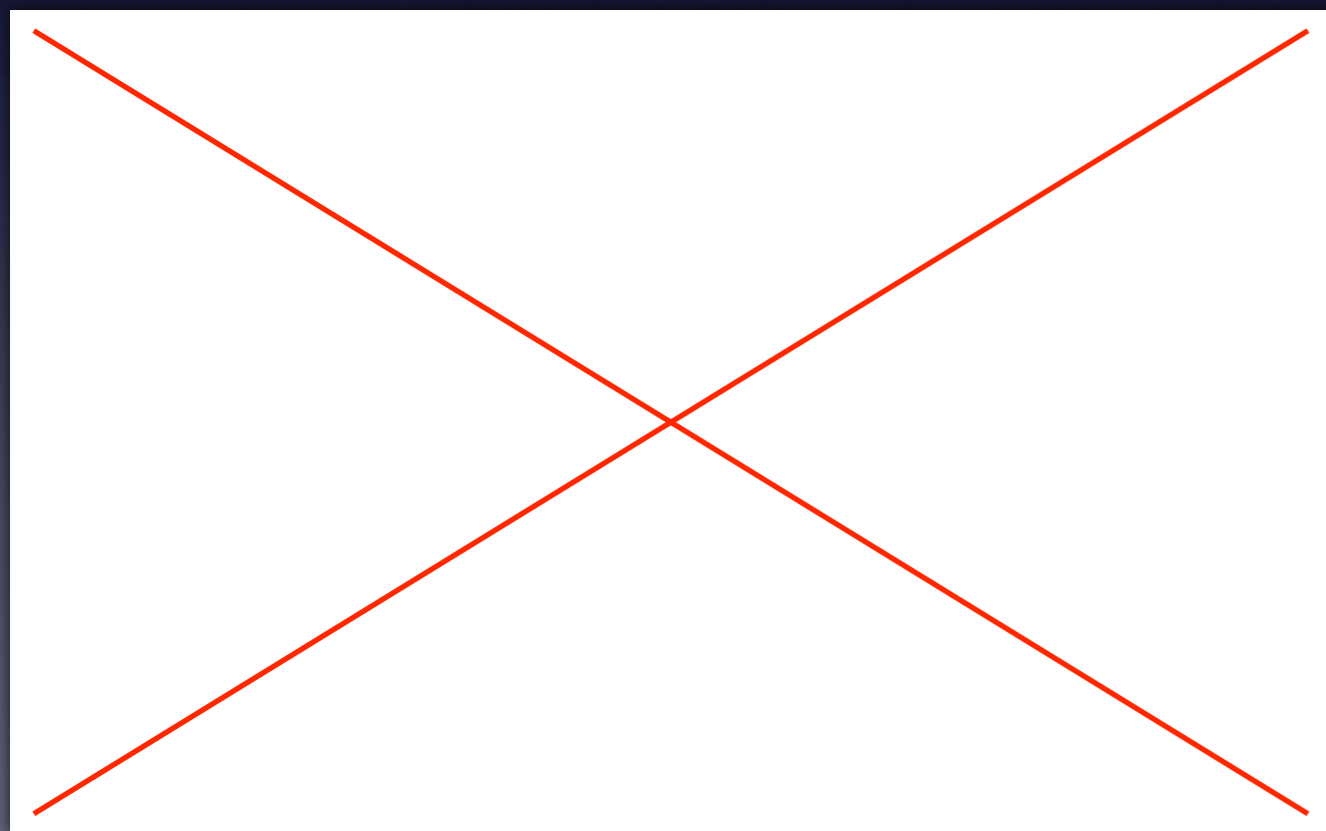
え、リジェクトの理由これ？

遠慮せずこちらの異議を申し立てましょう！

不当なりジェクトへの苦情

ケース1:大した理由じゃない場合

軽微な修正で済むことを伝え、査読再開を求める



査読返事 + 修正稿を
一緒に送るのも可

不当なりジェクトへの苦情

ケース1:大した理由じゃない場合

軽微な修正で済むことを伝え、査読再開を求める

これの末に2本通りました

査読返事 + 修正稿を
一緒に送るのも可

不当なりジェクトへの苦情

ケース2:複数ラウンド後に不明瞭な理由でリジェクト

チーフに苦情を言って再査読を求める

Nevertheless, it is extremely **UNFAIR** that we encounter careless treatments.

On this manuscript, in this journal we have already experienced over **TEN** rounds of review in total. From the first submission, **1,126 DAYS (over THREE YEARS)** have already passed.

Frontiers website says "Average time to final decision: 90 days".

<http://journal.frontiersin.org/journal/psychology#review-guidelines>

It has taken about THIRTEEN times of this average time.

問題のあるアクションエディタや査読者が仕事放棄していることを伝え変更を求める

不当なリジェクトへの苦情

ケース2:複数ラウンド後に不明瞭な理由でリジェクト
チーフに苦情を言って再査読を求める

3~4割くらい成功

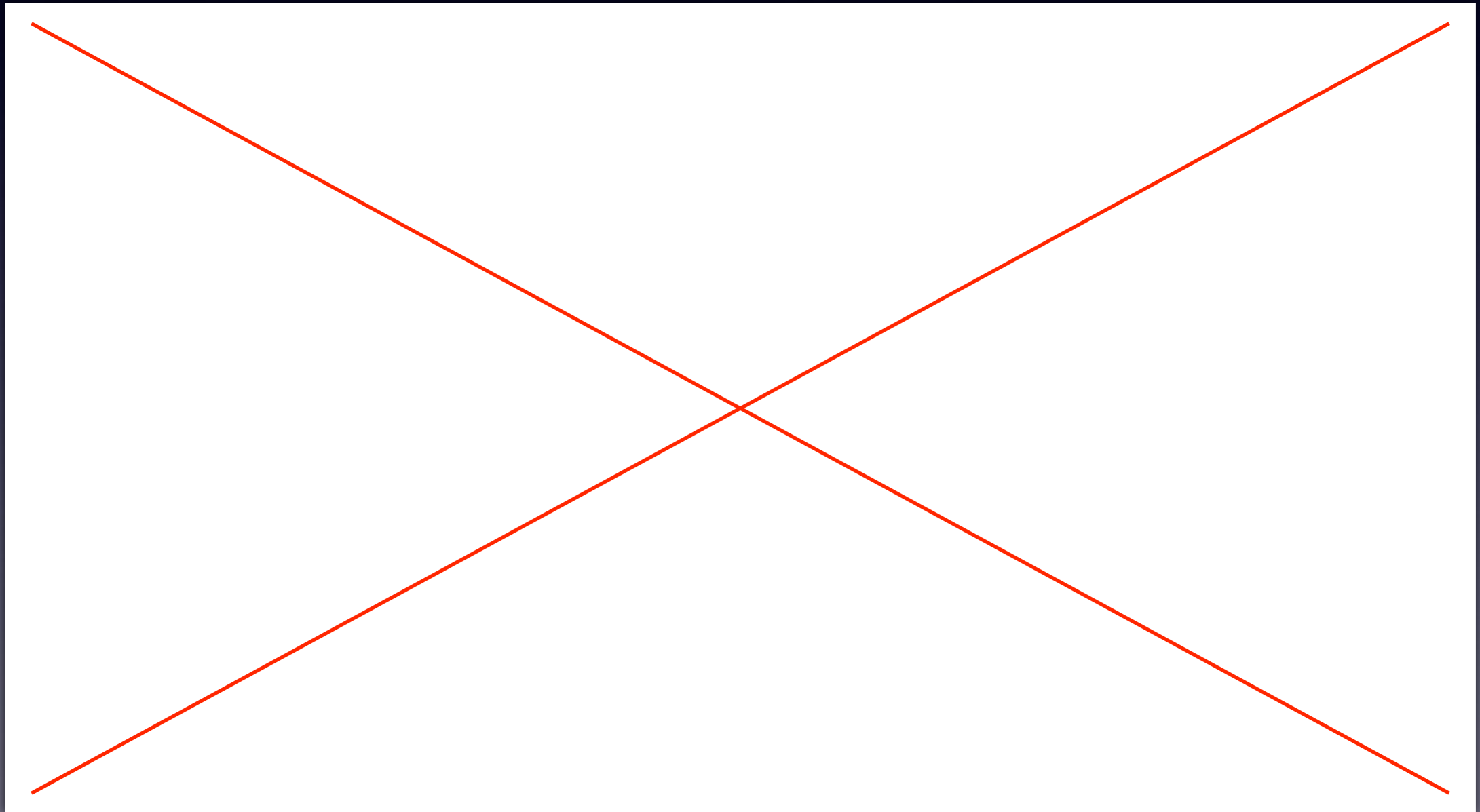
From the first submission, 1,126 DAYS (over THREE YEARS) have already passed.
Frontiers website says "Average time to final decision: 90 days".
<http://journal.frontiersin.org/journal/psychology#review-guidelines>
It has taken about THIRTEEN times of this average time.

問題のあるアクションエディタや査読者が仕事放棄
していることを伝え変更を求める

現地時間を考える

現地時間を考える

時間って各地で違いますよね？



現地時間を考える

採択日を一日でも争う場合

仕事終了時間や土日は大敵！

10:59

木曜日, 2017年9月21日 (GMT+2)

オランダの時刻

自分たちのリバイズ提出締切
を土日&アクションエディタの
現地時間を考えながら設定

現地時間を考える

採択日を一日でも争う場合

仕事終了時間や土日は大敵！

おすすめは木曜午前までに提出

木曜日, 2017年9月21日 (GMT+2)

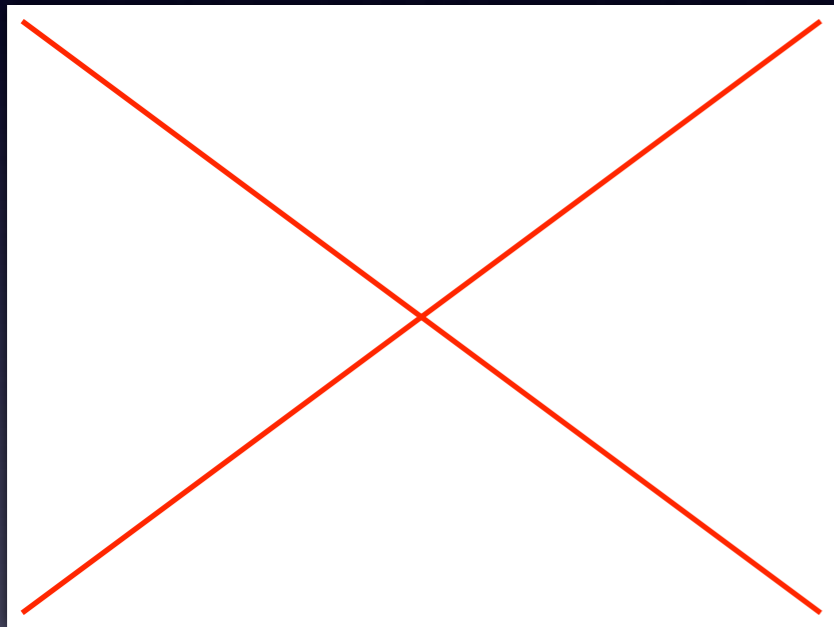
オランダの時刻

現地時間を考えながら設定

英文校正をすぐに終わる

英文校正をすぐに終わる

パターン1: 原稿分割法



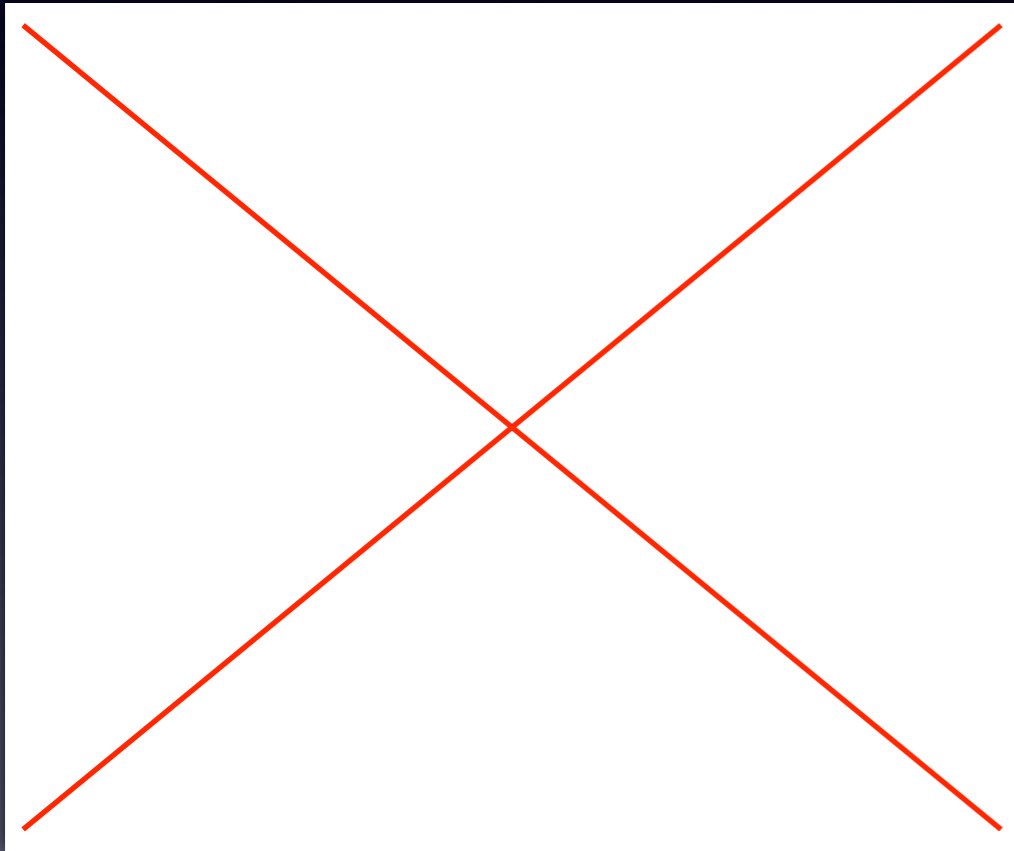
字数次第では当日返却可能

字数を越えた時・・・

原稿を分割して別々に依頼！

英文校正をすぐに終わる

パターン2: クラウドソーシングを利用



かなり安価(数千円)

めっちゃ早い(数時間)

クオリティもそこそこ良い

「クラウドソーシング 英文校正」でググってください

エディタに催促メールを送る

エディタに催促メールを送る

もう何ヶ月もエディタからメールが来ない・・・

遠慮せずに催促メールを送りましょう！

I and all the co-author love *Advances in Cognitive Psychology*!

Thank you for your e-mail and for your very nice words about our journal.

I am still waiting for the opinion of one of the reviewers. I will try to make a decision as soon as possible.

雑誌を褒めつつ急ぎたい旨を伝えれば大丈夫！

エディタに催促メールを送る

もう何ヶ月もエディタからメールが来ない・・・

遠慮せずに催促メールを送りましょう！

翌日には返事来ました(結果はリビジョン)

Thank you for your e-mail and for your very nice words about our journal.

I am still waiting for the opinion of one of the reviewers. I will try to make a decision as soon as possible.

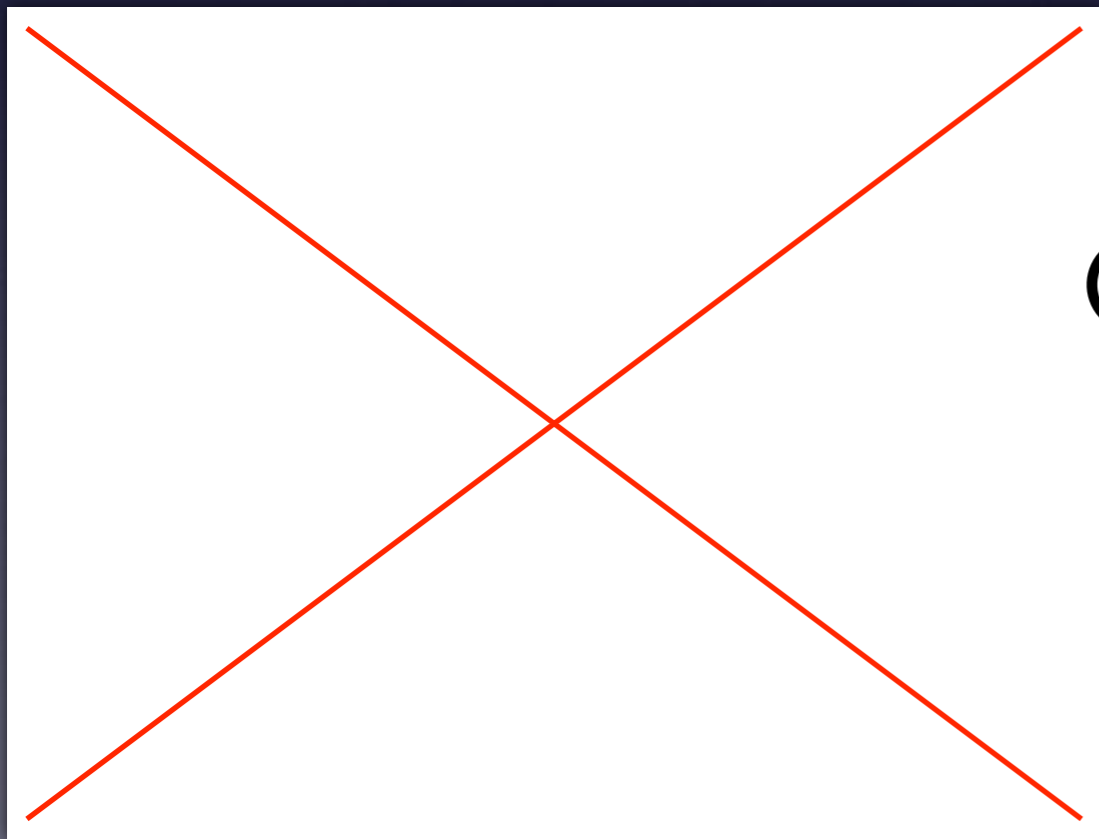
雑誌を褒めつつ急ぎたい旨を伝えれば大丈夫！

牽制投稿

牽制投稿

催促するのが怖い場合・・・

完成した論文をリマインダ代わりにジャーナルへ投稿



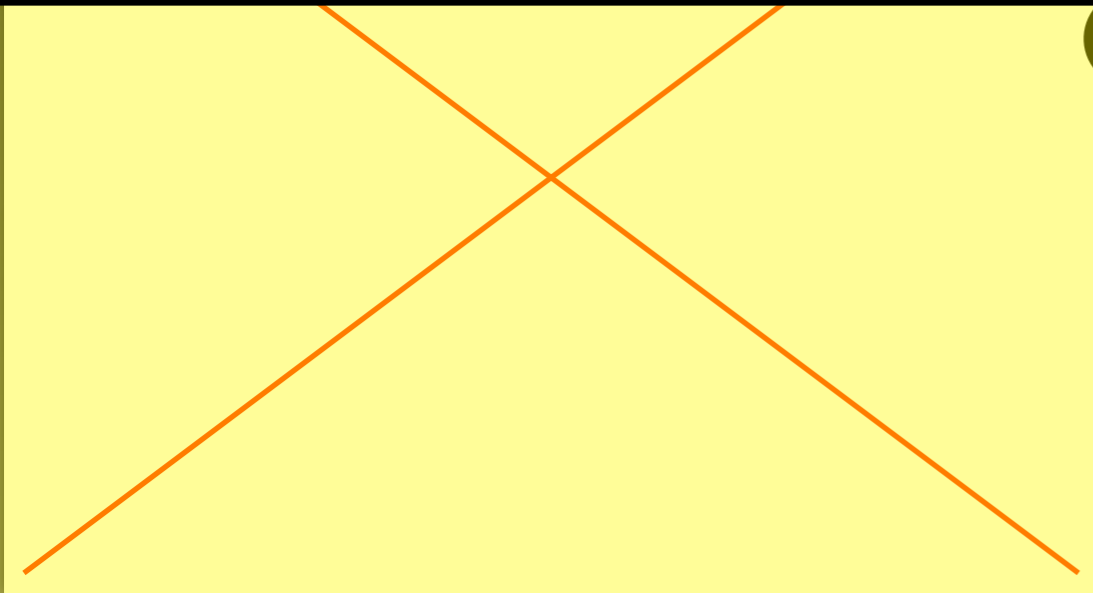
気づいて・・・

牽制投稿

催促するのが怖い場合 . . .

完成した論文をリマインダ代わりにジャーナルへ投稿

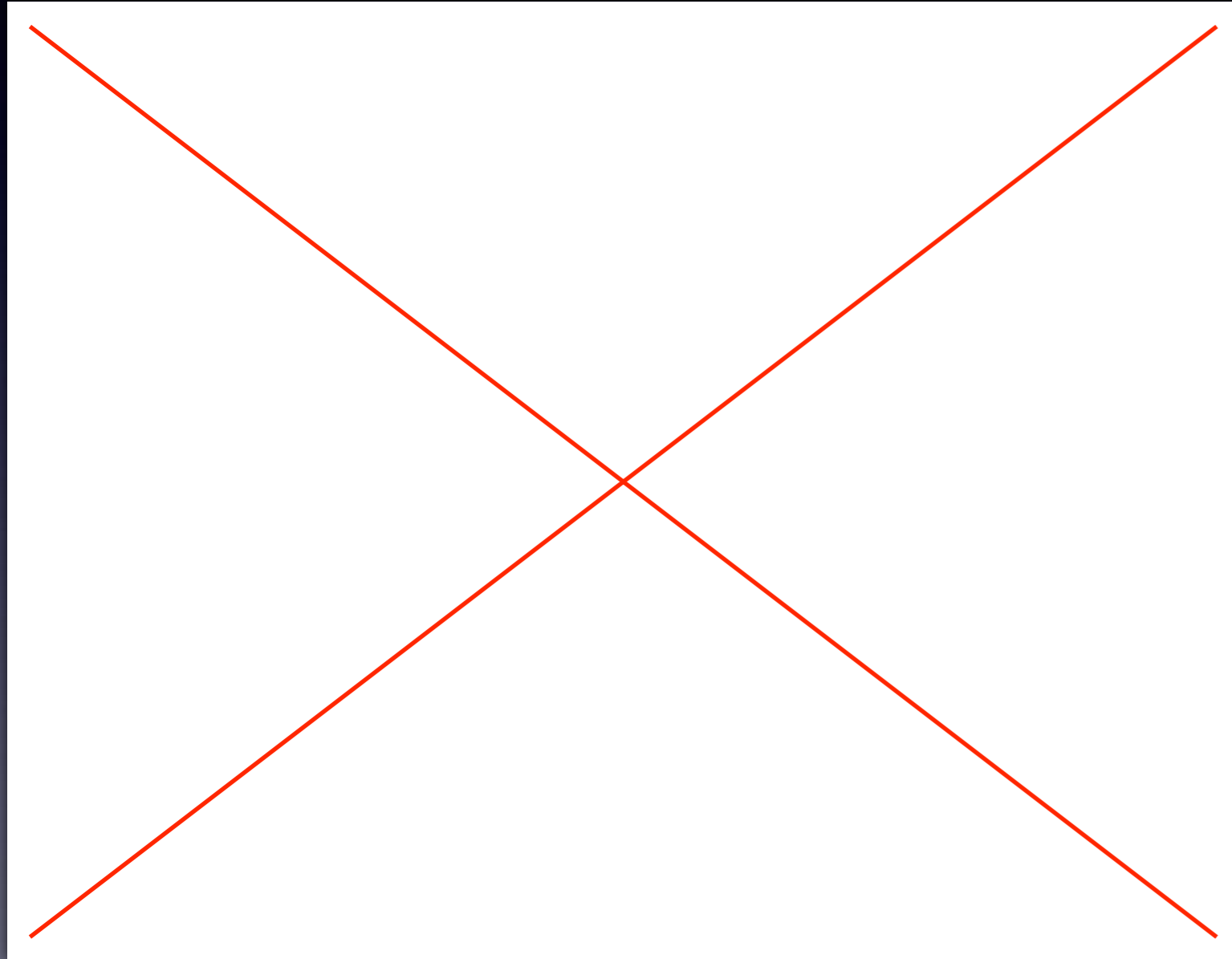
これはさすがにまだ試してません



**これは秘密兵器すぎるので気になる方は
直接どうぞ**

楔を打つ

あとがき



牽制投稿以外は
マジで実体験です

あとかぎ

試してみたい方は自己責任でどうぞ

マンご夫体駅ご9